

おんじゆく 広報

No. 31

昭和38年

12月28日発行



【写真】 仮装行列を見る人達、町民運動会より

= 主な内容 =

税金はこう使われています……………	2
選挙後初の町議会……………	5
カメラニュース・町民運動会スナップ……………	6
優良健康家庭を表彰……………	7
火事を防ごう……………	8
年金額が増額されました……………	9
改善される軍人恩給……………	9
いたずらはやめてくれ……………	10
やがてバスがくる……………	11
衆議院選挙得票結果……………	12

あじろの浜は
うつくしい
だあれも知らない
昔から
潮に風雨に
太陽に
かぞえきれないほど
磨かれた
あじろの浜は
神様だ

あじろの浜

あじろの浜

税金はこう使われています

37年度決算と38年度上半期

財政のおしらせ

町の財政事情をみなさんに知っていただくことは、私たちの町をより住み良くするために最も大切なことだと思います。

町のお知らせしておりますが今回は、昭和三十七年度決算と昭和三十八年度上半期の状況を公表し、みなさんに納めていただいた税金の使われ方について御批判を受けたいと思います

自然美を生かした環境整備を

財政力の弱い地方団体に対する財源強化を目的とする地方交付税の増額が図られ、したがって町財政も年々膨張を続けています。

特に最近、県内産業経態の進展、変化による自治体間の所得格差がはなはだしく、これらは是正についても県等であろうと計画されていますが、一方都人士等のいこいの場として急速に脚光を浴びてきた町をいかにしてこれに処していつたらよいかということが大きな課題となつて来ました。もち論町のみ

模な施設をすることは困難ですが、町特有の自然美を生かした環境整備を図ることが急務と思われれますので、それぞれ関係機関と協議検討し、計画を策定する考えです。

この額は事業繰越とか、支払月議会に於て認定を受けました。歳入総額の一億一千五四万九千円に対し、才出総額九千九百三十七万七千円で差引一千五百二十千円の黒字となり

1,150万円の黒字

昭和37年度決算

昭和三十七年度決算は九月議会で於て認定を受けました。歳入総額の一億一千五四万九千円に対し、才出総額九千九百三十七万七千円

この額は事業繰越とか、支払月議会に於て認定を受けました。歳入総額の一億一千五四万九千円に対し、才出総額九千九百三十七万七千円

昭和37年度歳入決算状況



昭和37年度歳出決算の状況 歳出総額 93,937千円



支出の状況

を下廻りましたが翌年度に収入される見込であり、寄附金の九七・三%は予算額を更正減額しなかつたため実質的には全額収入済となつています。

各科目共、ほとんど九〇%執行されており、特に事業費は一〇〇%消化されました。

一般経常費において不用不急なものとの関係で総額にて九五・七%の比率を示してはおりますが、もち論執行を抑制した費目のないことは申し上げるまでもありません。

別表でそれぞれ性質別決算、及び事業費等の詳細を示しましたので事業効果等について御意を見いださきたいと思います。

収入の状況

ほとんどの科目が予算額を上廻つた収入となつています。これは前項に述べた目的のもとに財源留保に意を用いた結果であります。分担金がわずかに予算

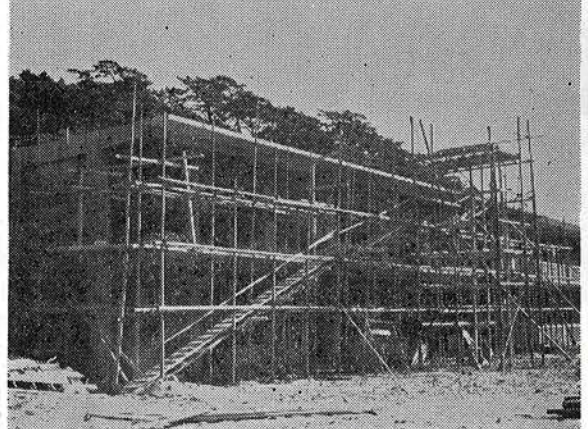
ほとんどの科目が予算額を上廻つた収入となつています。これは前項に述べた目的のもとに財源留保に意を用いた結果であります。分担金がわずかに予算

中学校、漁港工事も順調……

38年度予算使用の状況……

今年九月末日現在の予算額及び消化状況は別表のとおりで、実に一億一千五百万円余の大きなものとなりました。さらに年度未迄には三百万円余の追加が予想されますが性質別に分類すれば建設的事業費が約五十%を占めています。

地方交付税の算定においてみる、町の本年度くらの費用は四千七百二十五万三千円で、一方



【写真上】 御宿漁港工事も最後の仕上げにかかっている
【写真下】 八分通りでき上がった中学校校舎

入る額は千三百三十五万八千円となり、その不足分三千三百八十九万五千円が国から交付されます。これを地方交付税といつて今では町の最も大きい財源となつています。使用についても補助金とちがつて制約もなく、一般財源として有効に使えるわけです。したがって本年度財政規模は平常の約二倍以上に膨張していることとなります。

37年度性質別決算調(単位千円)

科 目	決算額	百分化
1 人 件 費	20,100	21.4
2 物 件 費	11,887	12.7
3 維持補修費	9,007	9.6
4 補助費等	7,903	8.4
5 普通建設事業費	24,542	26.1
6 災害復旧事業費	13,997	14.9
7 失業対策事業費	1,811	1.9
8 公 債 費	4,624	4.9
9 積 立 金	66	0.1
合 計	739,39	100

歳 入

九月末現在における収入の主なものをみると、町税八百五十万(四七%) 地方交付税二千

五十万円(一〇〇%) 等で収入総額四千九百五十万円(四三%) となつており繰越金を除く他は低率であります。予算額も確実に見込んであり、下半期にお

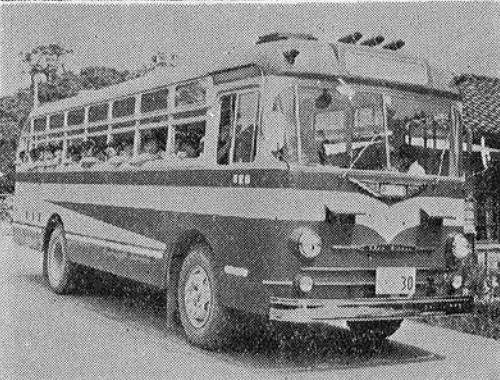
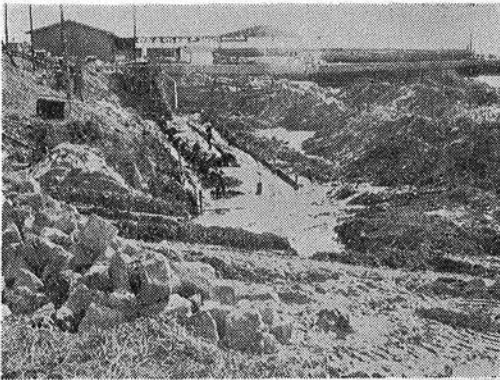
歳 出

歳出総額に対する執行割合は三二%、(三千七百三十万円)の併率ですが、これは額の多い産業経済費が一七%、教育費が一五%と特に低いため他の科目

いて工事の進捗等に伴つて円滑に収入されるので予算額を下廻るようなことはありませんが、スムーズな財政運営のために、納税には一段の御協力をお願いいたします。

37年度に施行した建設事業調 (単位千円)

事 業 名	事業費	財 源 内 訳				一般財源
		国補助金	庫助金	県補助金	分担金等 町債	
御宿漁港 災害復旧	8,827	7,856		421	275	275
岩和田漁港 災害復旧	1,548	1,017		77	227	227
清水川 災害復旧	3,622	2,990				632
御宿漁港 災害関連	1,971	1,269		95	303	304
御宿漁港 修築	12,000	4,800	2,400		3,000	1,800
岩和田漁港 整備	703		141		562	
岩和田林道 開設	4,251	1,230		820	1,035	1,166
岩和田林道 開設	1,211			360	549	302
岩和田小給 食室	2,256	260			1,000	996
消防 ポンプ	2,150	550			1,075	525
失業対策 事業費	1,811	919				892
合 計	40,350	20,861	4,314	5,026	3,000	7,119



【写真上】 岩和田漁港護岸工事も急ピッチで行なわれている
 【写真下】 250万円で購入されたスクールバス、毎日布施からの中学生や町内の保育園児を運んでいる。

財政事情公表のたびに、町民一人当りの負担額を示しており、八年度は一、八八七円)

町民負担の状況

が、前述のように予算規模は年々急激に延びているにもかかわらず、町税はわずかに増額して

で、一時借入金はない。

は上半期分に相当する額が消化されています。産経、教育費の低い理由は、現在工事中の中学校及び漁港工事費の約四千五百万が未執行となつて居るため、今後それだけの事業進捗を督促し、早期に竣功させ事業効果を一日も早く挙げるよう努めたい。歳出予算に計上した建設事業費の明細は八月広報紙に掲載済なので省略しますが、繰越事業のないよう

財政その他の面でも配慮しています。歳出予算を性質別に分けて示したのが、「別表第二」であり、人件費の一九・七%、物件費の一〇・六%、補助費の四・九%がすなわち消費的経費と称されるもので、他は投資的経費であり、この比率は適切なものと思われませんが、今後も予算編成には特に総合的に検討する重要部門の一つです。

いる程度で、県下の平均額を大きく下廻っています。

町有財産、町債、一時借入金の現在高

(イ)町有財産は前回発表してあるものと大きな変動はありませんが、その管理について行き届かない面もあり、町民一人一人の監視が最も効果があり、またそう願いたいものです。町でも出来るかぎり善良な管理に努力しますので、お気配の点はぜひお知らせ下さるようお願いいたします。

別表第1 9月末日現在の予算の消化状況

(単位 千円)

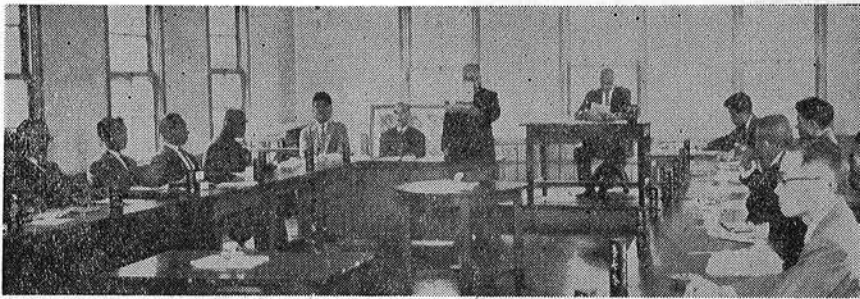
別表第2 性質別予算内訳表

入			出				
歳入	歳入	歳入	歳出	歳出	歳出		
区分	予算現計	収入割額	区分	予算現計	支出割額		
町税	18,128	8,515	46.9	議会費	2,309	993	43.0
地方交付税	31,044	25,024	80.6	役場費	14,277	6,955	48.7
財産収入	1,853	987	53.3	消防費	5,553	3,761	67.7
分担金及負担金	3,497	686	19.6	土木費	7,573	5,610	74.1
使用料及手数料	2,352	1,088	46.3	教育費	21,976	3,905	17.8
国庫支出金	25,773	161	0.6	社会及び労働施設費	8,354	3,457	41.4
県支出金	10,360	175	1.7	保健衛生費	1,153	322	27.9
寄附金	1,550	900	58.0	産業経済費	40,435	5,918	14.6
繰越金	11,500	11,501	100.0	販産費	516	271	52.5
雑収入	1,010	469	46.4	統計調査費	360	106	29.4
町債	8,000	0	0	選挙費	549	237	43.2
				公債費	7,064	2,435	34.5
				諸支出金	4,725	3,346	70.8
				予備費	223		
合計	115,067	49,506	43.0	合計	115,067	37,316	32.4

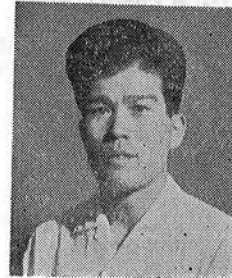
科目	予算現計	百分比
1 人件費	22,697	19.7
2 物件費	12,194	10.6
3 維持補修費	10,795	9.4
4 補助費等	5,599	4.9
5 普通建設事業費	47,220	41.1
(イ) 補助事業費	41,520	—
(ロ) 単独事業費	5,700	—
6 災害復旧事業費	7,157	6.2
7 失業対策事業費	1,941	1.7
8 公債費	7,064	6.2
9 積立金	100	0.1
10 予備費	300	0.1
合計	115,067	100

選挙後初の町議会

議長新井氏・副議長岩崎氏再選



新井清治氏



岩崎栄一郎氏

選挙後初の臨時町議会が、十一月十一日午後一時三十分より役場会議室で開かれた。

井上町長の挨拶のあと、議長割議長の選挙があり、議長に新井清治氏副議長に岩崎栄一郎氏が前回につづいて再選された。

選挙の決果と、臨時出納検査立合人、布施学校組合議員に選ばれた人は次の通り。

なお今回の選挙を通じて町政に対する一般の関心が高まり、傍聴人も多く、議会審議も活発であった。

【写真】
初議会であいさつする井上町長

議長選挙結果

当 新井清治

金井英一郎

君塚嘉兵衛

副議長選挙決果

当 岩崎栄一郎

神定長治

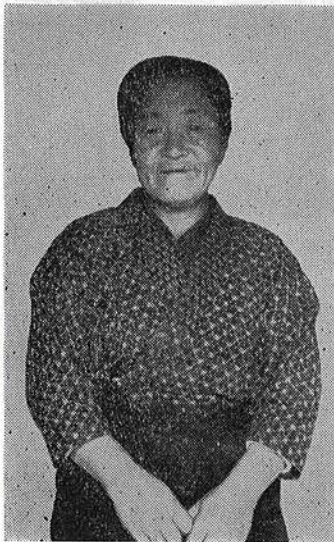
11票

10票

1票

13票

9票



人 鈴木はつ

今年も六二世帯もの多くの家庭が、優良健康家庭として表彰を受けたが、その中で六年連続して表彰された家庭が三世帯ありました。

鈴木はつさん(54才)

もその一人で、六年連続どころか、生まれてから

臨時出納検査立合人当選者

松本勘次

武田吉蔵

君塚嘉兵衛

布施学校組合議会議員当選者

君塚久仁治

式田雄吾

浅野航海

◎臨時出納検査立合人11年二回

行なわれる町の臨時出納検査に議会より選出された人が立会うことになっている。

◎布施学校組合議会議員11布施

小学校は御宿、大原町町の組合立となつていているため町より代表者を出して運営してゐる、その議員代表である。

五四年間、まだ一度も病気をしたことがないというからおどろく。

クスリの味も知らず、注射の痛さもぜんぜん知らない、健康に恵まれた体の持主は、世間広しと言えどもそうざらにはいないだろう。

「特別の健康法をしてゐるわけでも、特別の物を食べてゐるわけでもない」のだそうだが海女できたえられた体がこの記録を生み出したのだらうか。

いつまでも、この無病記録が続くよう祈りたいものです。

(住所は岩和田、職業は海女)

無病記録を続ける



↑年に一度の運動会を楽しむ人達で運動場はいっぱい。

カメラ ニュース

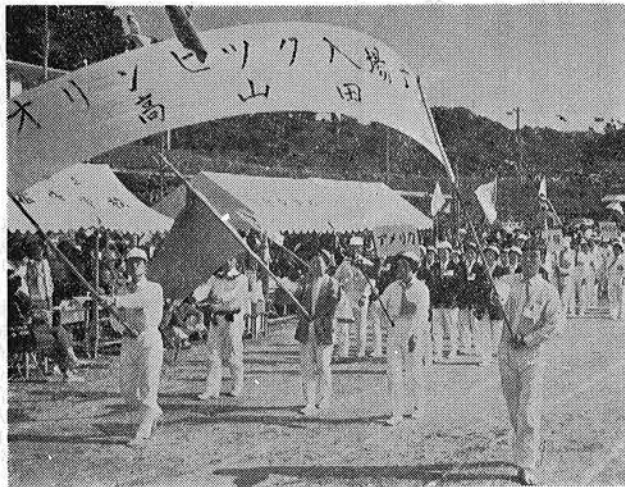
《町民運動会 スナツプ》

11月3日文化の日中学校々庭で町民運動会が開かれ、皆んなで楽しい一日を過ごしました。

↓保育園のよいこも一役



↑仮装行列はいつも人気の的(浜区の人達)



←高山田区の仮装行列



↑婦人会のおばあさん達も童心にかえつて……。

六年連続が三世帯

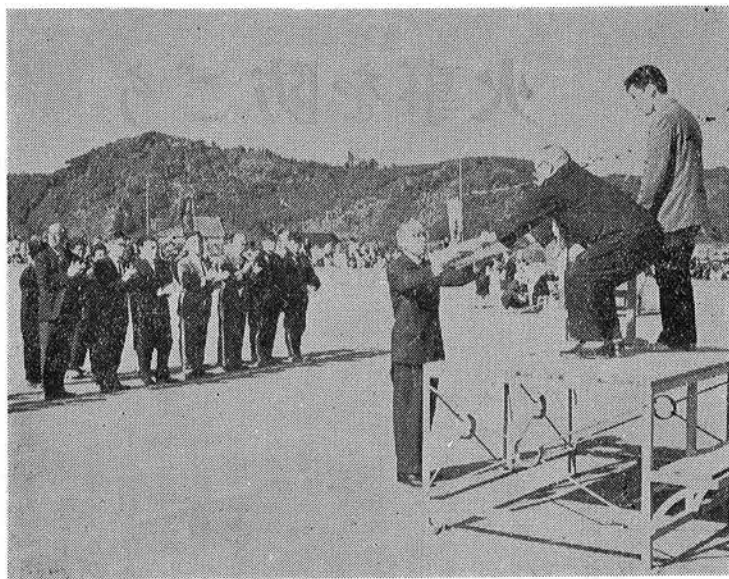
優良健康家庭を表彰

一年間家族全員が一度も病気にならず、しかも保険税を完納した家庭を町が表彰する、優良健康家庭の表彰式が今年も恒例により、十一月三日中学校々庭

で開かれた町民運動会の会場に於て行なわれました。この日表彰を受けた家庭は全部で六二世帯、このうち六年連続して表彰を受けた家庭が三世

帯、四年連続が四世帯、三年が三世帯、二年が十一世帯、一年が四一世帯でした。

表彰を受けた優良家庭は次のとおり。



須賀

鶴岡 章 野口 けい
高倉 はつ

浜

渡辺 かん 富永 とみ
渡辺 秀雄 日暮 勇
高倉 梅乃 浜野 武雄
桜井 太七 狩野満里子

表彰

浅野興典氏(役場厚生課長)

世話業務Ⅱ主に軍人、遺族等の恩給手続Ⅱの仕事に多年従事し、成績が優秀であつたと、千葉県知事より

吉野欣也氏(実谷)

鈴木幹雄氏(高山田)

高山田 三上 林三 岩瀬 堅次

久保

⑥鈴木 虎夫 岩瀬与志枝
松井 こと 吉田 光雄
鶴岡 真治

新町

④梶 常吉 ③吉野 治助
鈴木 金吾 吉野 ふく
吉野テル子 岩瀬 完弥
岩瀬 順子 石井 満津
佐藤 政哉 大河 たか

六軒町

⑥高木 すえ ④矢野 定二
④高橋藤治部 ③瓜本 禎藏
高梨 隆司 山本良之助
貝塚 さき 鶴岡 豊

花沢 きぬ 井上 ツネ

岩和田

⑥鈴木 はつ 石井 甚蔵
貝塚 誠 丸山 直吉
石渡 忠司 長谷川義夫
岩崎栄一郎 荘司 はつ

七本・実谷

④氏原種三郎 吉野 文三
吉野 文男 吉野千代治
君塚 精一 吉田 要
吉野 隆 吉野 正之

上布施

③吉野 正治 吉野 と志
久我 美知 石井 實
吉野 藤吉 鈴木 芳二
渡辺 一明 白井 すえ
(氏名の上の数字は連続年数)

鈴木信一氏(新町)

統計調査の事務が優秀であつたとして夷隅郡統計研究会長よりそれぞれ表彰された。
君塚 勲氏(久保)
長年海水浴場における監視及び清掃に率先して協力し、特に水泳者の事故防止等観光協会の運営につくした功績により岩瀬観光協会長より感謝状を贈られた。

日本自転車商協同組合主催の第五回全国自転車組立技術コンクール県大会に出場し、みごり第一位を獲得し、県代表として、名古屋市で行なわれる全国大会に出場することになった。

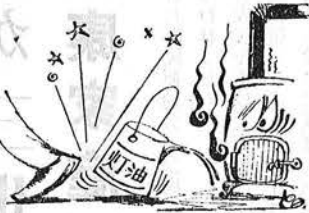
火事を防ごう

今年もシーズンが
やってきました



火の神様の道をきれいに

恐ろしい油と火の接ぶん



昔から地しん雷、火事、おやじは恐ろしいものといわれておりますが、その恐ろしいものの一つ火事のシーズンが今年もまたやって来しました。

これからの新聞紙上には「火事」という活字が多くなり、テレビ、ラジオからは「火事」という言葉を聞くことが多くなり

「火事は恐ろしいもの」と知りながら「火災予防」が叩ばれながら、滅るところかその数はふえるばかりです。

所得倍増ならぬ、火事倍増では困ります。

幸いこの町は年間一件多い年でも三件位で他町村に比べ多い

方ではありませんが、全国的に見ると四万三千件から四万七千件の火事があり、損害も二百五十億から四百三十億の膨大なものとなっております。

出火原因を統計に見ると、全体の八五%から八六%は失火で不可抗力的なものは僅か五%となっており、失火すなわち不注意によるものが原因のほとんどだということがわかります。

この原因をもう少し具体的に分類して、先づ火災に直接関係した火について見ると、それ自身発火しているたき火、たばこマツチ、煙突の火粉等によるものが三七・七%を占めて最も多く、ガス、油類を燃料とする道具、装置が一七・八%と続いております。

ここでも火に対する不注意、後仕末の不注意が原因の主なものということがわかります。

今日のように家庭器具にも火や電気を使うものが多くなり、火を使う機会が多ければ多いほど取り扱いにも注意しなければならぬはずが自然おろそかになる、ここに火災の多い原因があります。

このマツチ一本が火事になり石油コンロの火に大火になる危

険性があることを常に考えて使うことが大切です。

火事はお互いの注意で防げま

みんなの声

この二、三年。御宿を訪れる観光客は目ざましいばかりに増えているようです。都会の人から見た御宿の魅力は何といつても海水浴場の広い白い砂浜にあると思います。

ところがこの美しい砂浜に最近どしどし「ガラク」が運

(お答え)

御説のとおり、自然美豊かな当町を訪れる観光客が急増していることは御存じのとおりで、町としても適当な施設をして誘致に努力しなければなりません。何としても白砂青松の景観が唯一の魅力でこれは将来とも維持したいと思っております。地曳橋の南のガラク埋立地は、水の流れによる陸地の破損が毎年のうに繰返されるので、護岸をかねて整地するので仕上げは、きれいにする予定です。またこの空地利用については議会等の御意見を十分聞いたうえ処置し

す、誰のためでもありません。なたのためです、安心して住める火事のない町を作りましよう。びこまれ、その玄関口である地曳橋際には又不格好な建物が建築中です。景勝地をどんどんつぶしているように思われてほんとうに残念です。一体どういふ計画なのでしょう。か。広報紙上で一般町民にはつきりわかるよう明快な解答を求めます。

(金井英一郎)

たいと思います。地曳橋際の建物は観光協会よりの要請により諸用具の置場をかねて、夏季は貸家として協会自体の収入増を図るため、建設するのですが、外観等はさらに工夫し塗装も、背景にマツチするよう考慮し風景を大きくそこなわないようしたいと思っております。この地域は御指摘のように、夏は銀座通りと同じ様相を呈するので建物の位置は適切でなかつたとも、考えられます。今後は総合的建設計画に検討を加え、これに基づいて仕事を進めたいと存じます。

国民年金が増額されました

国民年金の額は少くとも五年毎に生活水準や、その他諸事情に合せて調整されることになっていますが、福祉年金(主として国民年金制度発足当時すでに老令、母子、障害の状態になっていた人に対する保険料を納めずに受けられる年金)についてはこの調整が図られ、本年九月より老令福祉年金は月額百円。母子障害福祉年金については、月額三百円それぞれ増額されました。但し九月より十二月分迄の年金の支払は来年一月となるので、増額された金額を受け取られるのは昭和三十九年一月ということになります。

支給制限が緩和されました。福祉年金は拠出年金と異り、保険料を納めず年金を受けられる制度で、全額国庫より支払われる関係上、支給上いろいろな制限があります。

(1) 今まで年金を受ける人が前年に十五万円以上の所得があると福祉年金の支給は停止されましたが、この制限額が十八万円に引き上げられました。

(2) 福祉年金を受け取る人の扶養義務者が前年に定められた額以上の所得があると、福祉年金の支払は停止されます。今までは扶養親族が五人である勤め人で給与所得が五十万円である場合を限度額の基準とされていましたが、これが六十万円に引き上げられました。

母子福祉年金の支給範囲が拡大されました

母子、準母子福祉年金の支給要件又は加算対象となる子、孫等は義務教育終了前のものに限られていたが、中学校卒業後でも身体に重度の障害がある場合は満二十才になるまで認められることとなりました。

その他
明治三十九年四月二日以降明治四十四年四月一日以前に生れた人の内、申出により国民年金

に加入した高令任意加入者は今まで会社等に勤務したことにより国民年金から除外されると、勤めを退職しても国民年金への再加入はできませんでしたが、

退職後三ヶ月以内に申し出れば再加入できることになりました。これにより高令任意加入の方々の拠出年金受給の機会が拡大されたわけです。

重責を果し相原助役 佐藤収入役が退任

本町助役相原誠三郎氏(65才)及び収入役佐藤清司氏(64才)は任期満了により十月十八日を以て退任いたしました。

相原氏は昭和二二年から三

年迄収入役として、昭和三十年から現在迄助役として、また、佐藤氏は昭和三十年以来収入役として、それぞれ重責をになつて来られました。

両氏のこれまでのご苦労に対し、町民の皆さんと共に厚く御礼申し上げたいと思います。

現行恩給法の傷病恩給で第一、第二目症程度の症状を有する旧軍人と準軍人は今回成立した「戦傷病者特別援護法」により戦傷病者となり戦病者手帳の交付をうけられることになりましたので左記事項参照の上町の傷病軍人会へ届出下さい。

また戦友の中で該当と思われる方がありましたら本人にこの旨お伝え下さい。

行法の第一、第二目症程度の症状があると思われるもの。
▽ 款症以上であつたが再審査の結果、それ以下で棄却の者
以上の方は①氏名②現住所③

参考
○ 戦傷病者手帳は来年九月までに発行される。
○ ところで第一、第二目症程度の症状とはどんなものかという。

- △ 第一目症▽
 - 身体的作業能力を軽度妨げることがあるもの。
 - 一眼視〇、二に満たざる者。
 - 一耳尋常話声を一メートル以上で解し得ないもの。
 - 一側小指を全く失つたもの。
 - 一側第三趾乃至第五趾の機能を廃したものを。
 - 一側環指の機能を廃したものを。
 - 一側第二目症▽
- △ 第二目症▽
 - 一側小指の機能を廃したものを。
 - 一側第三趾乃至第五趾中二趾の機能を廃したものを。

改善される軍人恩給

該当者は届出を

陸海軍の別(4)既裁定者は裁定年月日、裁定区分を明記して町傷病軍人会へ届出下さい。

【軍属、準軍属は非該当】
▽ 前記身分で旧目症裁定者で現

陸海軍の別(4)既裁定者は裁定年月日、裁定区分を明記して町傷病軍人会へ届出下さい。

正規の手続きその他については後日お知らせいたします。

次のとおりであるこれらはもちろんその一部にすぎないのだから該当症状はたくさんある。

- 一側小指の機能を廃したものを。
- 一側第三趾乃至第五趾中二趾の機能を廃したものを。

いたずらはやめてくれ

一步あやまれば大事故に

このところ悪質な列車妨害事故が相ついでいる。

十一月十三日朝、近鉄特急と小型トラックが衝突、十四日末明には東海道線の踏み切り上に電線下ラム二個と人頭大の石塊二個が置いてあつた。同日夜は相模線鳥井戸の無人踏み切り付近の線路上に鉄製の交通標識が

捨ててあつた。

いづれも幸い大事故にならなかつたが、十四日のケースは京都行き修学旅行列車が現場にさしかかつており、非常ブレーキでやつと現場二メートル手前でストップするありさま。

このほか列車投石事故、また酔つ払いの踏み切り上でのいた

ずら事故などが相ついでいる。どれを取り上げて一歩あやまれば大事故になる危険性を秘めており、これ以上の反社会的行為はない。

国鉄では公安職員を動員し、警察と協力して、こうした社会の敵を徹底的に追及、嚴罰するといつているが、この公徳心の欠如をどうすればいいのか。皆んなの協力で、こうした悪質なものをごの社会からなくしたいものです。



【写真】 入選した松本光一郎さんの作品「姉妹」

人気をあつめた写真展

商工会青年部主催の写真展覧会が十一月二十五日から二十七日迄の三日間商工会事務所にて開かれました。

応募作品は七〇点ほどあり、審査の決果(審査員は岩瀬禎之氏ほか三名)次の人選が入選しました。

- 入選一席 滝口 栄蔵(新町)
- 二席 松本光一郎(久保)
- 〃 滝口 栄蔵(新町)
- 佳作 藤江 真一(六軒町)
- 〃 式田 俊夫(浜)
- 〃 尾上 明広(新町)



【写真】 20万人の人でにぎわつた御宿海岸

金井さん渡欧

金井英一郎さん(全日本スキー連盟指導員)は一月二十九日より二月九日まで、インスブルック(オーストリア)でかれる冬季オリンピックに全日本スキー

一連盟派遣視察団の一員として出張。出発は一月二十三日羽田空港発。

尚その後イタリ、スイス、フランス、デンマーク、スエーデン、ノルウェー等諸国を歴法二月下旬帰国予定。

夏季旅客輸送で

実績を上げた御宿駅

昨年よりも二二〇万の増収

観光ブームに乗つて、夏の間御宿をおとずれる人は年々増えています、これにともなつて

御宿駅の成績も上昇し、東線のドル箱となつた。

今年は特に全準急列車が停車したこともあつて、七月二十日から八月十九日迄の一ヶ月間の乗降者は、九六、八〇六人を数え前年の八七、九六六人より、八、八四〇人増加し(一日平均三、二二七人・定期を除く)収入総額は九九九万六二七九円で、前年の八八八万四七一円より一一万一五六五円増収となつた。

この一ヶ月の間で最高の乗降者のあつた日、七月二十八日の日曜日、一日で八、八〇〇人の乗り下りがあり、七三万七千円を売り上げた。

(一)観光開発は外資導入のみ
私の故郷は中央線中津川駅から私鉄北恵那鉄道に乗り換えて、

一時間余りのろのろと走って、漸く達する岐阜県恵那郡付知町で、この地帯を真木曾と云われている。徳川時代には尾張藩の天領で、木曾五木と称される杉、松などの森林で被られ、住民はその一本の盗伐で首一つが飛ぶと云われて、恐る恐る代々貧しく眺め暮してきた。

昼尚暗く生茂つた美林に加え、湧き出る泉は深い溪谷となり、滝となつて、はるかの低地の兩岸の岩に激して、白い帯を隠見する。流水を集めて付知川となり、木曾川に合流する。今度この地帯は地方民の熱意によつて、県立真木曾森林公園の指定を受け、私が今度訪問してみると、森林軌道は廃止になり、一日数回観光バスが往復し、溪谷には美しい色々なテントが張られている。

名古屋市の小学児童が交代で避暑に來ているのである。終点には低温の温泉宿があつたが今は改築して、素朴な旅館ができ、数組の浴客が出入していた。

大きな話題は愛知、三重、岐阜に社線を通らし、日本で二番

目の長軌道を持つ『名鉄』即ち名古屋鉄道会社が、あの前々時代的な北恵那鉄道株の半分以上を、地方民がアツというまに買取してしまつたことである。そして早くも付知峡谷観光バスを廻し、小学生をテント村に誘つている。

やがてバスがくる

林 彰治



[上]

地方民にはこの開発を喜んでゐる人もあるが、私の友人には吾が郷里の観光地を会社が独占して、利益を占有するが、吾々地方民は単に砂塵をかぶるだけだと憤慨している人も多い。私はこれを聞いて少々同情したくなつた。

それでは名鉄にどんな計劃があるか知らないが、専門家が本社

から來てする経営力に対抗できる、地方有力者があるだろうか。医者、酒造家、前町長といった重役陣の御手並は非近代的に取残された今迄の経営でも解る。

観光地には道路の外にホテル温泉が必要である。莫大な資本を投入すれば、河原にぬるく湧いていた下呂温泉もあの通り豊で熱い温泉になる。ましてやこの地は御嶽山の麓で濁川、小坂、下呂等に隣合つている。この冒険は大会社のあせらぬ資本力のみ許される。

観光地としては近代的ホテルの経営、快適なハイウェイ、ゴルフ場、軽井沢にも匹敵する冷涼なこの地に別荘群の建設、ケーブルカーの設置、御嶽登山路の開発など揃つてこそ中京、関東、関西の客を迎えるに足る、中部日本一の健康な観光地となるであろう。

私はその企画は知らないが、『名鉄』が吾が故郷に着目してくれたことを感謝すると共に、この地方の有力者の方々の先見の明と、愛郷心とに敬意を惜しまないつもりである。然し資本は導入して、経営は『名鉄』等専門会社に任すべきであること、勧告したい。

最優秀に選ばれた

御中学生物クラブの研究

中学、高校の科学教育の振興と若い世代の科学の芽をのばす読売新聞社、県教委主催の日本学生科学賞県予選で、御宿中学校生物クラブ、渡辺隆夫君ほか二十二人の研究による『御宿の生物の発生と生能』が最優秀作に選ばれました。

御宿中学生物クラブはこれまで

学生科学賞に五回入選した実績があるが、渡辺君ら二十三人のクラブ員は先輩の研究を受け継いで、「アリジゴクヒメバチの一生」、「地グモの単の観察」「イモリの飼育」など、それぞれ分担を決めて、郷土の生物について研究したものです。



おめでた

十月 男3 女5 計 8

区 出生児 性別 保護者

須賀 石井郁子 女 敵

久保 伊藤久子 女 重蔵

新町 岩瀬 豊 男 幸市

増田 増田君子 女 誠次

六軒町 増田泰三 男

岩和田 芝井呂江 女 重雄

岩和田 高田修二 男 茂

岩和田 木原雅子 女 五郎

須賀 渡辺雅子 女 勝

濱 岩野利雄 男 市蔵

桜井元子 女 誠

高山田 岩瀬和子 女 春雄

新町 鶴岡厚子 女 政治

宿里 宿里吉明 男 和弘

六軒町 渡辺昌子 女 保男

岩和田 鶴岡三枝子 女 茂太

井上政江 女 功

山口利治 男 徳治

吉田和功 男 秀雄

江沢泰代 女 一夫

おくやみ

十月 男2 女1 計 3

区 死亡者 年令 死亡日

六軒町 若山つね 70 16日

岩和田 市東長蔵 73 12日

土屋文蔵 80 21日

十一月 男1 女1 計 2

岩和田 金井貞雄 75 8日

七木 吉田きん 80 9日

御宿俳壇

爛熟くなりしやと妻またあふる
われ酔へばこほろぎのひげタクト振る

岩瀬甘露子

熱の子の寝息はあらしちろる鳴く
口いでし言葉を悔ひて柿を喰む

岩瀬京子

雲ゆるく動き木の葉の散り袂へ

吉野 鶴女

秋雨や山に集ひし友のこと
罽雲尾根すれ〜に鶯の舞
沿道は次第に暮れて秋灯し

秋がきて雨にぬれたる萩の花
十五夜の月見るよりもダンゴかな
月さして一ときはさわぐ児童の家

山下 古城

郷愁の軍艦マーチさわやかに
たなぞこに木の実ころがしいて不惑
黄落をみつつ架空の旅つづけ

土井 久恵

紫にゆるゝ芒や海くるゝ
梅もどき隣の藪とつづき咲く
遠山の木々見ゆる日や鶺鴒高首

原田 光子

稲刈の終へた人達何所か行く
此の道は寺へ行く道曼珠沙華
鶏頭花また新しく家建ちて

佐久間 基

詩

「わたしらの海」

石田ゆき緒

北風が吹きそめると

どこかとなく

濁る わたしらの海

その

金色の湾曲に

くろく 散りばめる

白魚舟に

初冬の波があえなく吹きすさぶ

おやんよ

おつかさんよ

その舟のたまゆらが

糧なる網代の海に

今日もしきりに

うごく

うごく

御宿町の人口 (10月末)

前月より	(+増-減)
男	4,188 (-11)
女	4,868 (-7)
計	9,056 (-18)
世帯数	2,050 (-5)

編集者 東井上
発行者 井上

家議院議員選挙得票決果

(御宿町)

森 清	1,936票
実川 清之	622
中村康一郎	692
水田三喜男	527
千葉 三郎	314
岩永 武夫	54
岩瀬 宝作	35
計	4,180
投票総数	4,194票
有効投票	4,180
無効	14
持ち帰りその他	1
投票率	
男	73.59%
女	71.05%
計	72.19%
郡平均投票率	74.79%

多忙にまぎれ……



注意のうすれる時こそ
おいらのチャンス

栄蔵 吉
発行所 千葉県夷隅郡御宿町役場